

## 第68回 秋季市民体育大会開催要項 [ダーツの部]

- ・事業名 第68回秋季市民体育大会「ダーツの部」
- ・開催日 令和6年(2024年)10月20日(日)  
受付 9:30～、開会式 10:00～、試合開始 10:30～
- ・会場 箕面市立第2総合運動場 体育館 会議室
- ・競技内容 ゼロワン501 シングルストーナメント
- ・褒賞 優勝 (トロフィー、賞状、副賞)  
準優勝 (トロフィー、賞状、副賞)  
3位(2人) (トロフィー、賞状、副賞)
- ・参加資格 箕面市内在住・在職・在学(中学生以上)。性別不問
- ・参加定員 32名(先着順で定員になり次第締切ります)
- ・参加費 1人 500円(弁当代800円は別途)
- ・申込締切日 令和6年(2024年)10月6日(日)  
<< 受付は、休館日を除く午前9時から午後8時まで >>
- ・申込場所 箕面市立第一総合運動場「武道館」事務所  
箕面市立第二総合運動場事務所  
箕面市ダーツ協会事務局
- ・主催 箕面市教育委員会、箕面市体育連盟
- ・共催 箕面市立総合運動場指定管理者
- ・主管 箕面市ダーツ協会

[その他] 大会中における事故などについては、応急処置の他は主催者側において一切の責任を負いませんので、各自十分注意してください。万一、ケガなどをされた場合は、速やかに総合運動場事務所にご連絡ください。なお、必要な方はスポーツ傷害保険などに各自でご加入ください。また、駐車場には限りがあり、ご利用できない場合があります。できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関などでお越し下さい。会場で発生したゴミは、必ずお持ち帰りください。

[問い合わせ] 箕面市ダーツ協会 事務局 井本隆之 [Tel.090 2701 7337]  
箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局 保健スポーツ室 [Tel.072 724 6998]

※感染症の拡大等により、大会を中止・延期等することがあります。

切り取り線

### 第68回秋季市民体育大会【ダーツの部】参加申込書

弁当希望の方は○印を(別途有料800円)



氏名	住所または勤務先、学校名	年齢	性別	電話番号	弁当希望

令和6年度(2024年度)  
第68回 秋季市民体育大会「ダーツの部」実施要綱

大会(ダーツ)規定(抜粋)

1. 競技大会は、トーナメント方式で行います。対戦相手の組み合わせは大会本部で抽選とします。
2. 競技種目は、ゼロワン501シングルス・エニースタート・ダブルフィニッシュ、ベストオブ3、リミット15スロー45ダーツ。
3. 試合の先攻、後攻決めは、コインまたはその他の方法によって最初にセンターへ矢を投げる順番を決め、センターに近い方が第1レグ及び第3レグを先攻します。
4. ゲーム(レグ)のリミットは15スロー45ダーツです。制限を超える場合は、ミドルフォーデイドルで勝敗を決めます。
5. スコアシートには、フィニッシュのダーツ数、各自のトン数(100以上のスコア)、スコアキーパーの氏名、プレイヤーのサインを必ず記入してください。  
(100点以上のトン、ハイオフ100点以上、ショートレグ27ダーツ以下は必ず記入して下さい。)
6. 競技に関して疑義やトラブルが生じた場合は、競技を中断したうえ競技委員に申し立てをし、競技委員の裁定に従ってください。
7. 競技終了の選手は、随時スコアキーパーをお願いします。
8. 上記以外の規定については、ローカルルール(箕面市ダーツ協会ルール)を適用します。

注意事項

1. ジーンズの着用禁止、襟付きのシャツを着用してください。
2. 上靴(体育館シューズ)をご着用下さい。
3. 試合会場での飲酒喫煙禁止。
4. 試合マナーの厳守
5. 感染症拡大対策に協力ください。  
(1)マスクの着用。(2)試合終了時、握手の代わりにエアタッチまたは挨拶にとどめる。  
(3)順位決めのダーツは各々が抜き取る。(4)ダーツの貸し借りは避ける。(5)三密を避ける。

安全上の注意

ダーツは、誰でもが気軽に楽しめる競技です。しかし、不用意なプレーは即、他人を傷つけたり、自分もケガをしてしまう可能性があります。競技中は、上記のマナーのほかに、次の点にも十分注意を払われるようお願いします。

1. ダーツの矢は、必ずポイント(矢の先)を手のひらに隠して持ち、外へ向けない。
2. 対戦者がスローインラインに完全に戻ってくるまで、投げる構えをしない。
3. とんりの選手が落ちたダーツを拾っているときは、拾って戻ってくるまで待つ。また、自分のダーツが落ちたときは、とんりの選手が投げ終るまで待つ。
4. 投げて戻ってくるときは、不用意にとんりのエリアに入らない。
5. 床防護用のマットは、少し段差があるので、転倒しない様、足元に注意する。
6. 選手がスローインラインに立ったときは、他の人は絶対そのエリアに入ってはならない。